

会 議 録

1 会 議 名	令和5年度第1回太宰府市環境審議会
2 開 催 日 時	令和5年12月27日（水）14：00～15：10
3 開 催 場 所	太宰府市役所 3階庁議室
4 出 席 者 名	浅野委員（会長）、井上委員（副会長）、安恒委員、角委員、調委員、田中委員、川原委員、宮原委員、石橋委員、岩熊委員
5 オブザーバー	高原総務部長、轟総務部理事、柴田都市整備部長、中山教育部長、友添観光経済部長
6 事務局	高原市民生活部長、高野環境課長、徳重環境保全係長、松田ごみ減量推進係長、児嶋事務主査
7 議 題	<p>【議事】</p> <p>(1) 第四次太宰府市環境基本計画令和4年度実施報告について</p>
8 内 容	
事務局	<p>【議事(1)】第四次太宰府市環境基本計画令和4年度実施報告について</p> <p>※事務局より概要説明</p>
委員	<p>P14 気候変動対策について。令和4年度の地球温暖化防止活動推進員に推薦していただき、1年ちょっと経ったところです。令和4年度の取り組みとして、市の引継ぎができていないのではないかと思いますのですが、前任者の方と一緒にイベントをさせていただいて、125名が参加した地球温暖化防止活動を実施いたしました。</p> <p>その中で見えてきたことが、市の職員、民間、2人体制で行っている自治体が上手くいっているな、ということを感じます。提案ですが太宰府市も市の職員と一緒にやっていったほうが上手くいくと思っていますので、人数制限は無いとのことなので、一緒に取</p>

	り組みを進めていけたらと思っています。
事務局	イベントをやる際に職員の数が少ないこともあってできないこともあります。いろいろな方と協働していくとのことであればやっていけることもあると思いますので、今後、推進員と連絡を密に取っていきながら進めていければと考えています。
会長	推進員は県が任命するものでありますけれども、実際の活動のフィールドは市町村なので最初に制度を立ち上げたときに県に言ったのは、県がやるのではなくて市町村にやっていただくということを考えて、市町村の担当者とうまくやっていける推進員を任命するように伝えていきます。推進員の方も積極的に市に声をかけて、スケジュールの関係もあるので、早い段階から協議してほしいと思います。
委員	なかなか推進員さんだけで行っていくことは難しい。行政からも1人、民間からも1人、2人と一緒になってやっていくことが理想かなと思います。基本的に環境問題は教育だと。結局、県の立場というのはものを言うだけで。地元の市町村とやっていかないといけない。そのためには、環境に興味を持っている方はいろんなことを自分でやっているけれども、それを友達、隣の人にいかに広げていくかが一番大きいと思います。行政と推進員さんと一緒になって進めていかなければならないと思います。よろしくお願いします。
会長	それ以外で何かありますか。
委員	災害の関係。備蓄品について「期限切れのものを廃棄して」との記載がありますが、フードロスの観点を考えるとちょっと早めに入れ替えをして使える形で利用できる方法はないのか、調査検討していただきたいです。 また、3月の時に音、かおりの話をしたときに、太宰府ならではといえば、国宝の観世音寺の鐘があり、それを12時、17時につくのは難しいが、録音して17時に帰宅時の音楽の代わりに観世音寺の鐘の音を流したらどうかとの話をしましたら、教育部長が内部で話をしますとのお答えがありました。内部で話をされてどんな感じであったのか、教えてください。
教育部長	実際のところ課長まで下しましたが、ここでお答えできるような結果までできていません。当然観世音寺さんと話をしていないといけないですし、一つの大きな手立てとしては有効なことと考えていますので早急に考えていきます。よろしくお願いします。
会長	観世音寺の鐘の音に関しては日本の音100選というCDが出ています。今更録音せずに、それを流していいのではないかと考えます。
総務部長	フードロスを少なくするという点について、自治会等で行われている防災に関する講習会に参加された皆様に、消費期限直前という訳ではありませんが備蓄品の提供を行

	っています。また、令和4年度に実施した市民一斉避難訓練でも配布しました。今後ともフードロスの観点をとらえながら考えていきたいと考えています。
会長	次、どうですか。
委員	帰宅を促す鐘の音の件、賛成です。太宰府の鐘の音に代えることはいい案だなと思いましたが、もう一点、P14 渋滞緩和、P15 にパークアンドライドの話が出ていますが、市から出ていく車を駐車する、外に向かっての車を抑制するために実施されていると思いますが、逆のパターン、太宰府市の郊外に駐車スペースを設けて、西鉄電車に促すのかバスに促すのか分かりませんが、逆のパターンは難しいのですか。
都市整備部長	パークアンドライドにつきましては、西鉄都府楼前駅近くの国道3号線の高架下に、国土交通省と連携を取りまして太宰府市から福岡市に向かっての方に限って、50 から60 台程度の台数で運営をしているところです。太宰府市に来訪される方につきましては具体的なことまでできていませんが、春日市や筑紫野市のショッピングセンターに駐車する案をHP に提案させてもらっています。さらなる情報発信が必要と考えています。
会長	渋滞対策は市民から厳しい意見をもらっていると思います。
委員	私が所属する団体についてお話しさせていただきます。打ち水大作戦、環境フェスタについてはコロナで3年中止になっています。今後の活動について如何に考えていますか。
事務局	環境フェスタについては令和2年度に、今後のやり方を検討するため中止し、その後はコロナの影響が続いているということで中止としていました。コロナの方も明けましたのでやり方を含めて関係団体の皆様とともに考えていきたいと考えています。
委員	来年度から予定をしているということによろしいですか。
事務局	検討させていただければと考えています。
委員	打ち水大作戦も環境フェスタも両方ですか。
事務局	打ち水は昨年度、市内保育園で実施することを考えていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止としました。そちらについても併せて検討させていただければと考えています。
会長	環境フェスタをやるのであれば、推進員の言われていた意見を大事にしてください。

委員	打ち水大作戦については商工会青年部が毎年手伝ってくれています。青年部長が変わる毎に、打ち水大作戦を実施する際はよろしくと声を掛けてもらっています。保育園で実施する場合、青年部の出番はないかもしれませんが、実施する際はやり方を相談させていただければと思います。
事務局	打ち水を実施する場合は委員に相談させてもらえばと思います。
委員	P11②ワンヘルスの森を利用促進するとの記載ありますが、大野城市側の県民の森は整備が進んでいて展望台を設置する話も出ていますが、太宰府市は県に要望しているのですか。なにかアイデアがあればやっていただければと思います。次に宝満山側についてですが、登山客が増えていて頻繁に消防が救助に上がったり、登山客の怪我也多いようなので、そういった点で安全のための整備をするなどの計画の話をお聞かせください。
観光経済部長	産業振興課の方では、四王寺山に注力しています。宝満山の保存活用計画は文化財課で作成していますが、全体についての整備までは計画の中で謳っていません。国の史跡に指定されて10周年というところなので、史跡地としての価値、修験道としての価値、文化的な価値をどうしていくのかということについて、今前面に出しているところがあります。また、今言われていたように滑落があって救急車が来るということもありました。そのため、市民遺産にカエルを守る会も入っていただけたので、そういった関係団体や、宝満山の大半の土地の所有者である竈門神社などの所有者、隣接している筑紫野市とも協議・相談し、宝満山をどう整備をしていくのかなど、今、協議の入口に入った段階であると認識しています。
会長	何か意見ありますでしょうか。
委員	特にありません。
委員	令和4年度の実績を見させていただいて、努力しているなということは分かります。改善されたところが多いと見受けられます。私が個人的に思うところ交通の便が悪いくということ。太宰府市に来て10年、交通量が多いことは住民の方にとって非常に大変なことです。警察にも苦情が来ているということをお聞かしています。大分県の由布市は街に車が侵入できないようにしています。そのような改善ができればいいと考えます。また、私は野生動物研究会の会員でもあります。大佐野川にホテルを増やそうと活動したことがあります。宮崎県小林市に出の山というほたるの里、20万匹ほどいる場所ですが、そこの人に大佐野川にホテルを少しでも復活させたいというところで相談しましたが、生活水が流入しているため水質が悪く、今は無理だと言われました。なかなか水質がもとに戻らない、餌が育つ状況ではない、ホテルが育つ状況ではないとのこと。それから野生動物、猫の不妊去勢手術に努力されているというところ、ありがとうございます。私も行っています。動物を大切にしようということをお言っています。こう

	<p>いったことをしていただいていることに感謝しています。食品ロスについて、私は福岡県社会福祉協議会に所属しています。貧困で困っている人はたくさんいます。食品ロスになる前に太宰府市民に還元できないか、生活に困っている人を少しでも助けるといふ観点でご協力いただければありがたいです。</p>
会長	<p>猫対策については地域猫の会は組織されていますか。</p>
事務局	<p>太宰府市では地域猫の団体は組織されていません。餌やりをしている方、猫がかわいそうだと言っている方に捕まえていただいて、不妊去勢手術費用を補助しています。</p>
委員	<p>野良猫は触らないでください。いろいろなウイルスを持っていますので。</p>
会長	<p>地域猫の会については、国も正式に認知して計画にも盛り込んであります。</p>
委員	<p>給食の完全給食化については、各家庭の負担軽減や栄養のバランスがとれることからものすごくいいことであると考えますが、新しくエネルギーを排出する施設が出現し、食品残渣など廃棄物が出る問題があります。ゼロカーボンシティを実現するために環境サイドから助言はありますか。</p>
事務局	<p>今度できた給食センターでは実施していませんが、各小学校、ごじょう保育所に生ごみ処理機を導入して食品残渣をたい肥化して、小学校に返す事業を行っています。</p>
委員	<p>新しい事業所の電灯をLED化してもらうなどCO2削減に向けての助言はありますか。</p>
事務局	<p>事業所に対しては今のところ何も行っていません。</p>
会長	<p>ぜひ、この機会に考えてみてください。</p>
副会長	<p>空地の苦情が60件とありますが、どのような苦情が多かったか教えてください。</p>
事務局	<p>隣地の方から空き地の草刈りや樹木が越境しているので伐採してほしいといった要望が多いです。</p>
副会長	<p>市有地の適正管理について「定期的な草刈り及び樹木の伐採を行いました。4件」とあるが、それはどういったものですか。</p>
事務局	<p>こちらは市有地の樹木が民地にかかったということで、樹木の伐採をしているものです。それぞれの土地管理者で対応を行っています。</p>
委員	<p>成果指標の1ページの環境マナーを守られている市民の割合が年々減っています。ど</p>

	ういった原因か分かりますか。
事務局	はっきりとした答えはありませんが、地域のつながりの希薄化が原因の一つではないかと考えています。明確な原因まではお答えしにくいところです。
会長	市民意識調査のアンケート対象者は変わるものですか。
事務局	変わります。
総務部理事	市民意識調査は無作為抽出、2,000人の方に回答依頼をし、回収率 55.5%。多くの方に回答いただいておりますが、毎年同じ方への調査ではありません。
会長	地域別の分析ができれば、どういう地域からの回答がどうかというところで、少し今出てきたような話も分析できるかもしれません。
委員	エコファミリーのチラシ配布させていただきました。エコファミリーの登録については太宰府市成果指標の P4 に設定していただいております。このアプリでは水道光熱費を簡単に記録し、比較できたりとか、毎日のコラムを確認出来たりできます。これを使用することで市民の方に環境に対する意識付けできると考えています。より広げていければと思って紹介しております。エコファミリーの登録数はすでに達成していますが、環境フェアなどをされるのであれば、そのときにアプリの登録会などしていただけると、より皆さんに活用していただけるのかなと思います。
事務局	エコファミリーについては、HP に掲載しています。また、太宰府市広報で 2 か月に 1 度掲載している「地球にやさしいエコライフ」の中で、令和 3 年 8 月号で紹介しています。
委員	高齢者の方などアプリを入れることが難しい方もいらっしゃいます。環境フェアなどで推進員さんの方が登録会を開催して、一回で 100 件くらい増えた自治体もあるようですので、検討していただければと思います。
会長	ちなみに、新宮町が福岡市と一緒に ECO チャレンジなどをしているので、そういったのと一緒にできればなど検討してみてもいいと思いますね。
委員	P12 有害鳥獣の記載についてですが、筑紫地区 5 市宇美町で協議しているとありますが、この地区でイノシシの生息数の予測はできているものですか。
観光経済部長	生息数については把握できていません。協議の内容については現状出ているイノシシにどういう対策ができているかの情報共有が主な議題です。

委員	協議会の中で年間どれくらいの捕獲量があるか分かりますか。地域振興のジビエ料理を提供できる仕組み作りはできないのか、と考えていますがいかがですか。
会長	山は自治体をまたいで続いているから把握は難しいでしょう。
委員	地域振興の役に立てる方法がありますか。
観光経済部長	糸島市と添田町の方でジビエの処理場を作っているという事例がありましたので先進地として見学しました。その結果、今のところ市単独での処理場の設立が難しいと考えます。やはりジビエにするためには鮮度管理などの課題があると認識し、いろいろ協議しておりますが、そこまで至っていないというのが実情です。ちなみに、令和4年度太宰府市では幼獣成獣含め 427 頭捕獲しました。隣接する市町も同じような数で推移しています。
副会長	アライグマの捕獲実績は？
事務局	30 頭の捕獲実績があります。
副会長	アライグマについて記載があるが、特に増えているから記載しているということでしょうか。
観光経済部長	感覚として増えているという認識です。
副会長	福岡市でもよく出るので増えているのかと思い質問させていただきました。
委員	捕獲したアライグマは殺処分しているのですか。
事務局	イノシシの罠にかかった場合は猟師さんに処分していただいております、特定外来生物として捕獲した場合は業者に処分を委託しています。
委員	P13 のため池の保全と活用について最後に質問させてください。環境学習で、国分小学校でため池の学習をしています。今年度は市の管轄するため池で学習することができないか協議を行ったのですが、結局、安全面から許可が下りませんでした。今までずっと途絶えずやってきたため池学習が今回で途絶えてしまいました。環境課としてはため池の保全と活用を打ち出していますが、その中で、今後どのような整備や活用を考えていますか。これまで環境学習をずっとやってきたのに、それができなくなり、どうにかならなかったのかなと思いました。確かに、安全面の問題も分かりますが、安全対策を取りながら実施することはできたらよかったなと思いましたので、ため池でそれぞれの担当のご意見をお聞きできればと思います。

都市整備部長	ため池について平成30年から令和元年の災害で決壊したことを受け、国の特別措置法を受けまして、ため池の診断をして、改修を順次行っているところです。どろんこまつりなど環境教育に関わる部分については教育部と連携してどういったことが望ましいのか検討していきたいと考えています。
委員	それに加えて1件あるのですが、西の池では貴重な水草があったのですが、改修工事が去年から入って、それが原因ではないかと思われるのですが、アゾラという外来種の水草が一面に広まりました。工事で搬入した土砂から広がったのではないかという保健環境研究所の考えでした。そういったところで、工事をする際に、使用する土砂とかも考えていかないといけないと思うのですが。
都市整備部長	ため池の工事の土砂というのは難しく、水を通しづらい粘土層から段々と層をつくり、通常の土砂に近づけていく。やはり現場の土だけでなく他のところから持ってきたりしますので、その中で外来種の発生などを防げるのかどうか現場にも確認します。
委員	ため池について、太宰府は団地が多く調整池も同じ機能を有しています。他の自治体は公園や駐車場として活用していますが、太宰府市はすべてオープンの状態です。公園にすると利用価値があると考えますがいかがですか。
都市整備部長	ため池の公園化について、市では公園の維持管理に限界が来ています。地域の方々と協力して維持管理できるか、新しい公共の考え方を持ち込みたいと考えています。
会長	国の法律が変わりまして暑熱の対策、特に注意しないとけません。熱中症対策について特に力を入れていかないとけません。
事務局	会長の言われていたクーリングシェルターについて各公共施設担当課と連携して対策を進めていければと考えています。
会長	来年度から改正法が施行されるので、遅れないように対策を行ってほしいです。本日は大事なご指摘もありましたし、検討いただきたいというご意見もありましたので、ぜひ、関係各課でそれぞれについて活かしていただければと思います。それでは、他にないようでしたら、審議会の議事については終了いたします。